

平成22年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称		〔16〕 東京都台東区立特別養護老人ホーム三ノ輪				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H22. 4. 1 ～ H27. 3. 31	
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2) 類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム浅草・特別養護老人ホーム谷中					
(3) 経営状況	(21年度決算ベース) [社会福祉事業会計] 歳入2, 557, 487, 339円, 歳出2, 553, 884, 652円, 収支差額3, 602, 687円					
<b>2. 施設の概要</b>						
(1) 所在地	台東区三ノ輪 1-27-11					
(2) 設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。					
(3) 利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者					
(4) 開館日・時間	通年、24時間					
(5) 規模	延べ床面積 9, 617㎡のうち4, 604㎡ 三ノ輪福祉センター内 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上9階地下2階のうち地上8階～地下2階部分 駐車場(共用)、売店、リハビリ室、浴室(機械浴、一般)、ボランティア室、居室、静養室など					
(6) 人員体制	36名 内訳…施設長(1)、事務員(常勤1、非常勤1)、相談員(1)、介護職員(常勤22、非常勤4)、看護職員(5)、栄養士(1)					
<b>3. 事業(サービス提供)の概要</b>						
(1) 委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助(食事、介護、季節行事等) 地域・ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓、その他環境整備。等					
(2) 自主事業	自主事業は行っていない					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	負担金	82, 626, 000	86, 496, 000	69, 037, 000	56, 262, 000	60, 621, 000
	料金収入等	267, 343, 000	258, 115, 000	265, 995, 000	270, 905, 000	280, 171, 000
	管理経費	349, 969, 000	344, 611, 000	335, 032, 000	327, 167, 000	340, 792, 000
決算	負担金	48, 199, 457	59, 859, 548	40, 097, 356	56, 262, 000	60, 621, 000
	料金収入等	298, 113, 931	291, 522, 280	306, 855, 123	285, 402, 387	327, 203, 725
	管理経費	321, 180, 760	319, 607, 460	329, 208, 829	327, 565, 690	344, 512, 220
	収支	25, 132, 628	31, 774, 368	17, 743, 650	14, 098, 697	43, 312, 505
<b>5. 施設の稼働状況等(活動指標)</b>						
指標名称		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
入所定員(ショートステイ含む)		人	67	67	67	67
<b>6. 成果指標</b>						
指標名称		単位	目標値(23年度)	19年度	20年度	21年度
利用率(特養+ショート)		%	99.0	97.6	99.0	99.0
利用者数(特養+ショート)		人	24, 300	23, 941	24, 220	24, 205

## 7. 前年度からの取組

利用者一人ひとりのニーズに対応できるよう、個別浴槽の設置など行いサービスの向上を図った結果として高い利用率を維持している。

**8. 評価項目**      3：協定等の水準を上回っている。      0：協定等の水準を下回っている。  
                          2：協定等の水準どおりである。      -：評価対象外項目。  
                          1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.3]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[3]	(g) 自主事業の成果	[-]
	(c) 職員配置	[3]	(h) 個人情報保護	[3]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.4]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[3]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[3]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

**9. 評価**

S（水準以上）      : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）            : 協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり） : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）      : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未滿）      : 協定等の水準を満たしていない。

評価の視点	評価	説明
(1) 事業の運営	S	基準を超えた有資格者の配置や、個別浴槽を活用した利用者の個性を尊重したサービスにより、全体的に適切な事業運営がなされている。特養の空床を利用したショートステイを行い、昨年に引き続いて高い利用率を維持している。
(2) 施設の維持管理	A	清掃等、建物設備維持管理は概ね適切に行われている。
(3) 利用者の満足度	S	個別浴槽の設置など利用者一人ひとりのニーズに対応したサービス提供により、利用率は高い水準で維持しているとともに、満足度調査では、利用者からの評価は概ね高い。
(4) 歳入歳出	A	予算については概ね適切に執行されている。料金収入は増収となったが、今後も引き続き管理経費の削減に努める必要がある。

**10. 総合評価**      良好 妥当 要努力 要改善 不適

**良好**

職員配置基準を上回る有資格者を配置し、また利用者一人ひとりの個性を尊重した決め細やかなサービスが展開され、満足度調査でも高い評価を受けており、高い利用率を維持している。

## 11. 評価結果への対応

施設の維持管理については、年度途中で委託業者が契約辞退をしたが、新たな委託業者と契約し、問題なく維持管理を行っている。  
 効率的な施設運営のために、今後も経費の見直しの努力を継続していく必要がある。